拡大してきたグローバルビジネスを支えるR&Dの現在の取り組み

NTTグループの成長の柱となっているグローバルビジネスはM&A等により大きく拡がっていますが，その成長を支えるR&Dの取り組みも，さまざまなかたちで拡がっています．本特集では，北米，欧州，アフリカ，アジアなどさまざまなリージョンで行われているNTTグループのグローバルな事業会社でのR&Dの取り組み事例を紹介します．

角（すみ）　隆一（りゅういち）/唐澤（からさわ）　圭（けい）
NTT研究企画部門

NTTのグローバルビジネス

NTTグループは，2015年に公表した中期経営戦略の中で，グローバルビジネスを成長の柱の１つとしており，2017年度には売上195億ドル，利益10億ドルに拡大しています．積極的に海外でのM&Aを行ってきたことにより，現在ではNTTグループの従業員の約４割にあたる11万6000人が海外で勤務しており，グローバル事業の重要性が増しています．例えば，2010年にはNTTがDimension Dataを買収し，2014年にはNTTデータがeverisを買収するなど，さまざまなリージョンでお客さまとの関係を拡げています．また，2013年には，北米でのクラウド・セキュリティの分野でR&Dを行うNTT Innovation Institute, Inc.（NTT i[3]）を発足し，スクラッチからさまざまなサービス開発することにも挑戦してきました．これらの活動を融合し，NTTグループ各社がグローバルに協力し合うことで，ネットワークやデータセンタなどのITインフラからビジネス・アプリケーションまでのフルスタックのサービスを，アドバイザリからマネジメントまでのフルライフサイクルでサポートすることを強みとしています（**図１**）．

デジタルトランスフォーメーションを支える体制の構築

NTTグループでは，従来のITインフラ事業に加え，マネージドサービスやアプリケーション提供など，デジタルトランスフォーメーションをフルスタックで支え，R&Dによる革新的なデジタル技術により，お客さまへ新たな価値を提供することがさらに重要になっています．そのため，お客さまの経営課題にデジタル技術を使ってこたえるためのアドバイザリや提案力の強化を図っており，ソフトウェアデファインドで柔軟なクラウド・サービス，高度化するサイバー攻撃に対応するセキュリティ・サービス，多様なデータから高度な分析・予測を行うビジネス・アプリケーションの強化などが必要となると考えています．また，エンド・ツー・エンドで，サービスや業務

BPO: Business Process Outsourcing
ITO: Information Technology Outsourcing
AMO: Application Management Outsourcing

図１　グローバルビジネスの概観

プロセスを運用することや，お客さまのセキュリティを守り続けることにより，強い関係性を構築し新たなサービス提供につなげていくことが重要になります．これまでにも，NTTグループでは，大学などの先進的なお客さまや，スポーツ観戦や自然保護など，これからデジタルトランスフォーメーションに取り組むお客さま，金融業界など複雑なシステムを持つお客さまなど，さまざまなお客さまと検討を繰り返し，新しい価値を生むことでデジタルトランスフォーメーションを支えるパートナーとしての信頼を積み重ねてきました．

日本では，NTT研究所をはじめグループR＆Dで開発した技術をベースに新しい価値をパートナーと生み出すようなB2B2X型のコラボレーションを行っていますが，このような価値をグローバルなお客さまに提供するためには，現地でのサポート体制の構築が課題になっています．そのため，グローバル事業会社の中に技術を説明できるプレセールス人材や，保守まで行えるセールスエンジニア人材を育成し，現地でのデジタルトランスフォーメーションを支える体制を構築しています（**図2**）．今後，R&D技術のグローバル展開をさらに加速するためには，グローバル事業会社等から得られるお客さまのニーズを踏まえて新しい差異化技術を生み出すようなサイクルがさらに重要になると考えています．

イノベーションの推進に向けて

NTTグループのR&Dには新しいイノベーションを生み出すことが求められ，将来の変化を見据え，お客さまとともに価値を具体化していくことが重要になります．そのためには，技術動向の調査により将来の変化を予測し，その変化をお客さまに合わせた価値に変えるアイデアを生み出し，専門家によりアイデアを具体化するサービスを生み，サービスがグローバルに提供され続けるエコシステムをつくることが必要です（**図3**）．

本特集では，海外事業の中核となっているNTTコミュニケーションズグループ，NTTデータグループ，Dimension Dataグループ，およびNTT i³のR&Dによるイノベーションの推進に向けた取り組みを紹介します．

NTTコミュニケーションズグループからは，国内で培ったNTT AI “corevo®” 技術を用いて，アジアの先進的なお客さまに対するデジタルトランスフォーメーションの取り組みを紹介します．

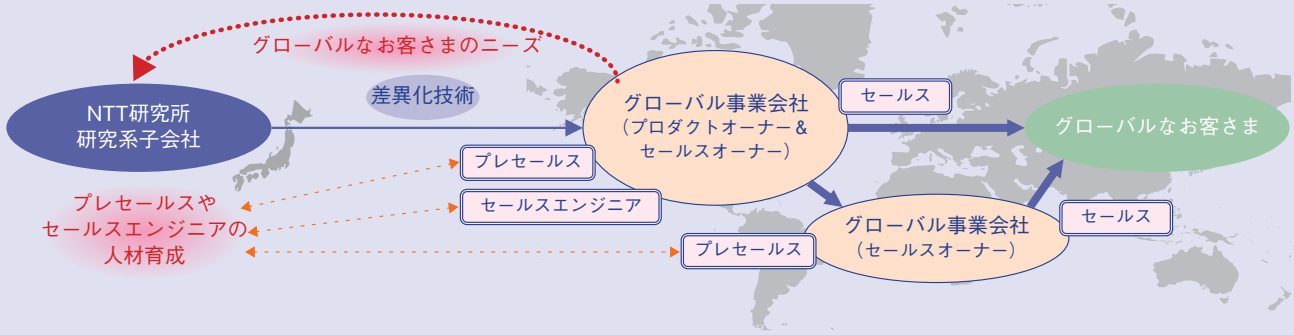

図2　NTT R&D技術のグローバル展開体制

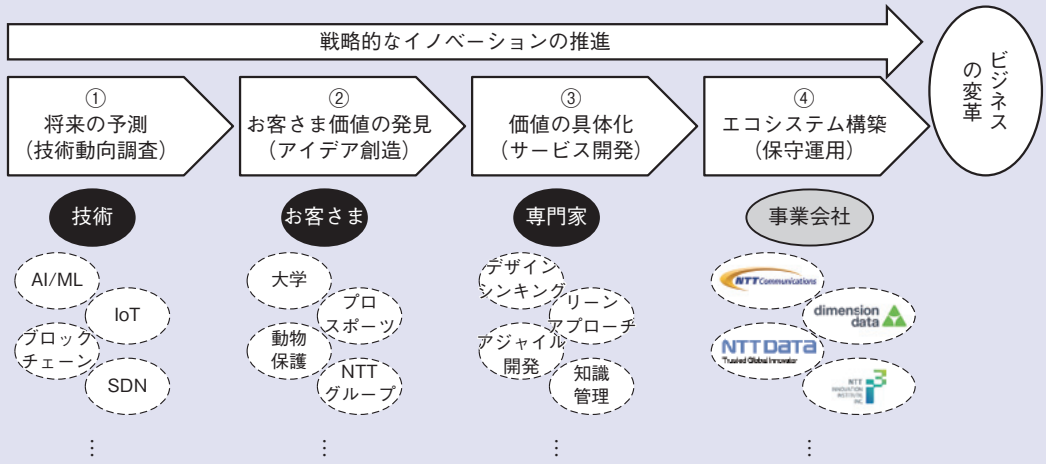

図3　イノベーションの推進に向けたステップ

Dimension Dataグループからは，AI/IoTやブロックチェーンなどの技術予測を踏まえ，北米のプロスポーツやアフリカの動物保護などの新しいデジタルトランスフォーメーションに向けた取り組みと，NTTグループ各社と連携した新しい取り組みについて紹介します．

NTTデータグループからは，戦略的なイノベーションの仕組みと，ヨーロッパの大学など先進的なお客さまに対する，デザインシンキング型の開発の取り組みとエコシステムの構築例を紹介します．

NTT i^3からは2017年から開始したSDN（Software Defined Network）とNFV（Network Function Virtualization）を融合した新しいCLOUDWANサービスとそのIoT分野への展開について紹介します．

このように，NTTグループは，国内外で培ったデジタル技術を核にしたグローバルなビジネス開発により，さらなる成長を進めています．

（左から）角　隆一/ 唐澤　圭

NTTグループの活動はグローバルに拡がっており，R&D活動も大きく変化しようとしています．グローバルなコラボレーションにより，オープン・イノベーションを推進していきます．

◆問い合わせ先
NTT研究企画部門
R&D推進担当
E-mail　rdplan-pr@ml.hco.ntt.co.jp